

# 表彰朝会の意義と課題

071216\_上木崎小学校\_校長\_山田

# 今朝は表彰朝会でした

- 大会議室で、**のべ20名ほどの児童**に賞状を手渡しました。
- 他にも教務主任が名前を読み上げ（**のべ100名ほど**）、教室で賞状が手渡されました。
- **学校の教育活動は、時代とともに変化**していきませんが、この表彰朝会は、私が教員になった30年前、さらに昔、私が小学生だったころから続いています。
- 調べたわけではありませんが、全国的に見ても**同様の取組が続いている学校は多い**と思われます。

## 表彰の後、子ども達に話したこと

- 今日、たくさんの友達、子ども達に**賞状を渡すことができてうれしい**です。
- 今日、賞状はないかもしれないけれど、2学期も、**みなさんが色々なことに一生懸命頑張る姿**をたくさん見ることができました。とてもうれしかったです。
- **好きなこと、得意なこと、頑張っていることは人それぞれ**ですね。それをまとめると**個性**といいます。
- これからも一人ひとり、**自分のよさ、個性を生かして**がんばってください。友達のよいところ、頑張っていることに目を向け、**認め合い、励まし合って**いきましょう。

# 表彰朝会の光と影

- 表彰状、賞状という結果、成果を目に見える形にしたものを受け取ることは、その子自身が**努力の結果、成果を自覚**し、さらなる**向上心**をもつことにつながります。
- 一方で「結果がすべて」「受賞の目的化」に偏ると、**積み重ね、努力といった過程の価値**が薄れてしまいます。
- 多くの人とともに受賞の喜びを共有することは、**自己肯定感を高めるとともに、集団の明るい雰囲気、学びの意欲**を高めます。
- ただ、子ども達が受賞したものの全てを取り上げ、学校全体の場で表彰することはできず、ある程度の基準を設けたとしても、**多少なりとも不公平感を感じる子ども**、保護者がいることでしょう。（現状として、全体での表彰は学校の学習・課題と直接関連のあるものや市・市教委等のコンクール、大会などで、入賞・入選したものを表彰しています。）

# 校長個人としては

- 例えば、教員から入賞の報告を受けたり、児童から直接報告があった際には、**校長室でお話ししたり、賞状を手渡したり**するよう心がけています。
- 場合によっては、教員が校内に作品等を掲示するなど、**児童のがんばりを広める工夫**をしています。
- **残念ながら**、学校外、様々な分野での挑戦・活躍すべてを把握することはできません。
- 個別の表彰といったご要望があれば、お知らせください。  
できる限り対応したいと思います。

## ちなみに

- 以前は、学校だより等に、**表彰のあった児童氏名を掲載**することもありましたが、本校では現在行っていません。
- 背景には、**個人情報保護に対する社会的関心の高まり**や**児童家庭個別の事情・意向への配慮**などがあります。
- 児童の作品を掲示した際に周知案内文を配信するといった取組も行っていますので、お子さんの努力を認め、褒め、励ます手がかりにしていただければ幸いです。
- 学校の表彰朝会は、表彰を受ける子どもを含め、**日頃から真面目に、こつこつと努力を積み重ねる多くの子ども達にとっても目標、励みになるものにしたい**と思っています。